

萬國新聞紙 第三集

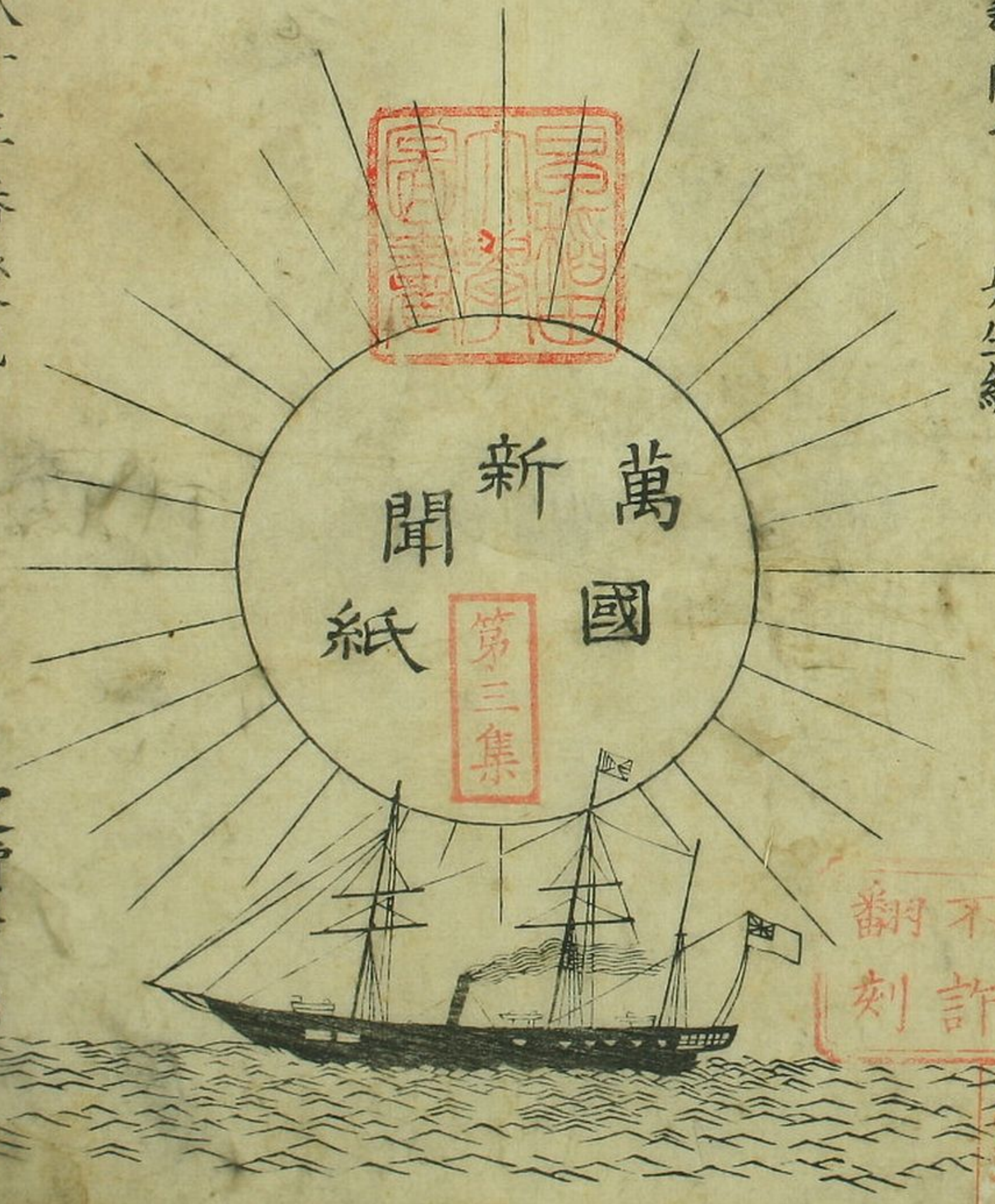
西垣文庫  
文庫10  
7368  
1



慶應三年三月下浣

英國教師ベリー先生編

橫濱八十三番發兌



萬國新聞紙

第三集

翻不許刻

定價四百銅

叢書

特	文庫10
	7368
	1

凡例

此の新聞紙も日本の諸君子小萬國の事情を告げんとし人爲に編成せらるる

日本の開化を事速くして方今有志の諸子萬國に道徳學問を官許ありて實小余輩の慶する所なり此時當て諸君子萬國の事情を通りて實に缺るる急務なり

毎月二三回飛脚船の新聞を得りや否直り上木を乞ふ

此新聞ハ諸人の報告を集めて編む者故に其報告間疑ありて其説の確るや否を知らざる者ありと雖も編者は是を辨る事能はざらん

諸君若し珍説奇談を聞かば本村通百六十八番或は本町通八十三番より報告せらるるなり然れに直り此の新聞紙ハ加出版を乞ふ

飛脚船到着次第外國諸物價の相場報告を得は是亦一同上木を乞ふ横濱市中物價相場も上木の度い毎に此後附を乞ふ

卷末小横港新聞といふ者と集けてハ當地より出る新聞にて此地に限りたる消息といふる意なり其文中問を設くる者あり諸君答書せらるる百一番拙宅より投却せらるるべし

萬國新聞

前集小日本商人二人の不正なる事件と出諸人小報告なり是亦懲惡の意なり迹後当港小在浦せる外国人皆變約不正の者と此此新聞紙に加入して其罪を顯はさんといふ

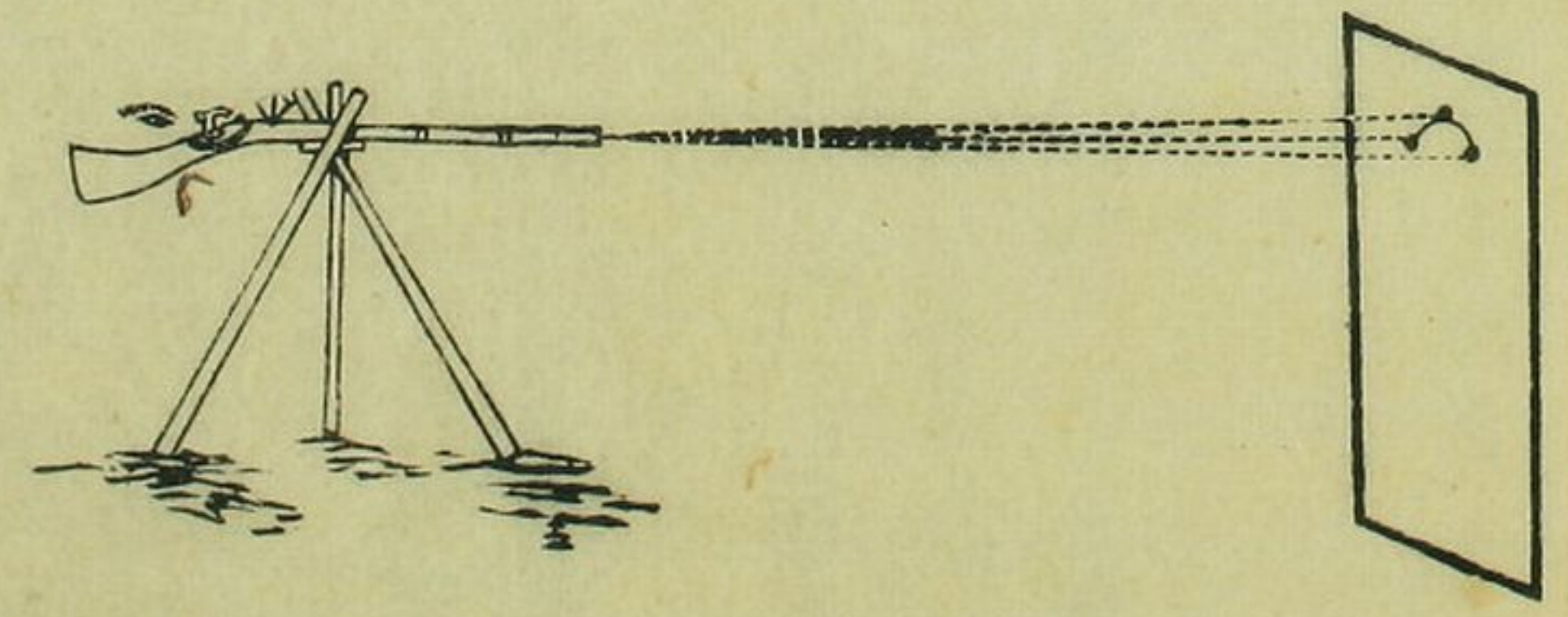
方今日本に於て拳國盛なり砲術を操練する小因て今爰に施條銃狙發直中法と擧げ示さるる只近き距離のみならず新發明施條銃の達する遠距離と命中する此法と与つん余前小江都に在り時余の親友の藩邸を狙獲を試むるを觀し小五十「ヤルド」より八十「ヤルド」の如く標的を置き試むる事数回も遂に一度も命中する事能はざらん此の如く終の距離と中する事能をせんハ何を能く遠きを中て得んや且當今戦争を近く接ぎばして四百「ヤルド」より八百「ヤルド」迄の遠き人在る戦少故に命中を熟せんめり近きも一百五十「ヤルド」又ハ二百「ヤルド」を隔て標的を置き演習すべし今試み五十「ヤルド」の距離小一小標的を置き五發一中する者より五百「ヤルド」の隔りの大なる標的と中て五發を五十發して僅に一中するなり爰に次の二条に注意せし第一に銃を淨潔にせしめ第二に銃を正直に持たせしめ若し清

際一置くをんで銃と損する事少く且筒中不潔なる時ハ弾丸と  
 して狙狙り一知小直中セリ一能く故に放發セリ後ハ速に能く  
 掃除をス一尋常演習小用ひ一時々も塵埃附着する故に「ラッ  
 グ」毛織此古と柵杖の端を挿し筒中を拭く「ロック」雞頭此後の金具と  
 大抵取り多しと禁む若し取り付く基木と損するのをり一再び能く  
 合ざる故に雨中を雨水の滴も入るを恐るあり此ニ筒中を掃除するの法  
 と共へ一放發後ハ後ハ鶏頭  
 と大ニ擧げ柵杖の端を「ラッグ」  
 以て包み筒穴に能く合ふ善き  
 右手で巢口のめく下部を持ち  
 火門と前の方を「図の如く」  
 水と出つより流し出さし筒中に  
 冷水と洒さへ柵杖を上下より事数回下り濁水と流し出し再三清冷水を以  
 て前の如く上下より清潔をめて止む熱湯ハ筒中を暖む故に決して用ざらん  
 若し筒中熱氣ある時冷気を吸ひ湿汗を生ず是を拭ふと雖も全く冷り至ら  
 されも水氣を盡す能はざる故なり而して乾きたる「ラッグ」を以て銃の内部



外部も水氣を拭ひ取るべし殊に「ロック」の

辺を極りて丁寧と拭ひ些少の湿氣もあ  
 べし床尾を蠟を少く塗り堅木を  
 以て是と擦著し光沢の生るに至ら此等  
 時々見る所を美し又湿氣を防べし然て  
 霰炮の理を正しく銃を持ちしを要し着  
 照星と左右に偏する時弾丸を偏せ一方  
 と趣あり乃ち図に於て見るべし今試小銃を  
 臺上より居て動搖をりしを木板を標的となし  
 本込銃の薬室を抜き筒中を窺ひ標的板の  
 筒中を當る處に標照し又左右に偏し前の如く  
 標照を記す時と図の如きの違ひを生ずあり



第二集出板の後佛「エ」船「亞」コ「ラ」ド船脚「飛」ル「マ」ン船到着をり「コ」ラ「ド」西  
 第四月三日「明」ガ「ン」フ「ラ」ン「シ」ス「ロ」を出帆し同月廿八日横濱に着長「太」平「海」飛脚  
 船社中の定期よりより八日遅滞をり是定て「ニ」エ「ロ」ル「ク」を別に事故の  
 り一事と見たり然れども以て同船も禮拜日暮に放發し善炮の快音を

一時之發散と見えたり以船西洋海の傳信機を以て得たり第四月一日迄の  
「コロール」之新軍と載来たり

英吉利国

英國太子の妃弟二月廿六日女子を産き然れも近日傳信機  
て得たり新聞より産後危病多く快復を得り事能ハ  
ざるを憂ふ。前二「ミニスト」は日本に来り「コロ子」は南亞米  
利加「キートン」使節たりが過日「キートン」の率きり

「ワイニーン」は「イラン」に於て最近近頃各処に起り蒸気車道と破壊  
電氣線と截断し「ホリス」スラー「ニユン」國中各々あり若干の兵卒と也と侵

襲し其兵士を捕へたり然れも英兵既小叛黨の巨魁を捕へり  
變を獄中に繋ぎ改其究と速小携治さんし此中ハ往年戦争中  
前之亞國總督たり一人り此叛謀中「アイルランド」と共和政治の  
独立国と為さんしと余輩實ハ此好惡亞人の其黨に入て叛乱ハ  
相扶くると歎息たり

佛蘭西國

日本政府の馬より「コロール」に於て鐵造の軍艦と製此戰艦ハ「コロ

ゲート」艦より六門の巨大炮と備ふ此造艦の價大凡五十六万四千と不龍動  
の近地に於て亦日本政府の馬に二艘の「コニボット」軍艦と製造す。西  
洋第四月一日「コロール」に於て大博覽會と開たり都地極り雜沓  
し但亞國の甚充備と毎事缺欠する事ありとしり佛の新聞紙  
中の流し此博覽會甚ハ佛帝の意を充たすべく預大哀微に至ら  
んと思ふ衆人も少く面白く思ふも毎物頗る高價不廉ふ  
れを偏く買求む事能ハざる。日本大君へ贈物として佛國より「ア  
ラビア」馬廿五疋を送り来る「コロール」に於て佛皇帝の馬人伍長一  
人別十二人と共小己に「コロール」を獲たり

北「ジェルマニー」國

北「ジェルマニー」も近年戦争の後「アルシア」の屬部となり許多の國名あり此新合  
衆部の新會議官第二月廿四日「アルシア」王に拜謁し王甚大喜悦の色  
あり此合衆部と管轄する新政事と定む「アルシア」も其統主たり四十三人  
の大評議官の内十七人も「アルシア」より撰出せり。北「ジェルマニー」は「ミニスト」の  
日本に来るる「ボン」ブランドと始とて此人前「アルシア」の「コンス」ルと横  
渡り来り今又再び来り去歲「ジェルマニー」は往り一時「アウストリ

この戦争將に起らんとせしホングラランド民兵國中七守る為ニ編制する軍隊ニ大連の頭  
方ニ非ず八十年々手役ニ出せる者の総督奉行の副督とあり「ボヘミア」名ニ於  
て殺田戦争を時クコレラ病盛ニ行つて死者甚多一第一の副督も遂小  
以て係りて卒せし「ホングラランド」も亦侵襲と受く瘡て則「エルマニ」の温湯  
ニ浴せり横濱在溜人の希慕も亦因て文官に轉り「ロニスト」も亦ありて  
再此小来れり○北「エルマニ」合衆部の新旗号も黑白赤三劃の横線  
あり軍艦の旗号も未だ定まらざる

魯西亜國

日本使節波得達し國帝小謁せり○モスコウより始て瓦斯燈を用なり

澳斯太利亞國

國民の希望も因て國帝再び別艦と装し使節を日本へ送る事を許す

西班牙國

國中益々擾亂し國民公然と女王并に評議官を恨み罵り

意大利亞國

弟三月十日に國人逆と謀り國王を刺んと企てる者あり幸かして此  
危難と免れたり○日本へ送り新「ロニスト」コントラトルル紅光北京ニ趣き支

那と條約と結て後日本も来らんとせ

希臘國

ギリシア近傍の島に数回の地震あり又屋を潰壊し數千人を殺す

合衆國

亞國政府して亞米利加州中の魯國領に金を出し續々と此  
價七百二十五万ドルに及れし亞國中あり衆論紛紜たり蓋し荒  
漢無用の地なりなり○亞國の「ロニスト」羅馬在溜を止めたり亦  
後を「ロニスト」を置のことに定む○太平洋海蒸氣飛脚船社中「ロスタ  
リ」船第四月一日に奴約を出帆を以火船々上海横濱の間を往復  
する飛脚船あり○日本使節亞國へ之て諸奇衆珍物偏覧し其就  
中分維術の試験も實々眼目と驚き又瓦斯製造を見る此  
七年前に嘗て亞國へ来りし二君此瓦斯の用久しきとて日本に  
遍くんと願ふとソリ飛脚船ライフル彈丸の製造場をも觀て大息  
し歎きし也人此使人の像を寫真し後華盛頓へ趣きたり

「カンドワイチ」島

「カンドワイチ」島に在溜する者小米利堅人「ウエンリ」より贈りた

る破船の始末は記さず書牘支那人の「ロイ」島人并尔日本人八戸  
喜三郎等余と同く「ボレル」島より「ベル」船に乗る「ボニコ」日  
本に向く出帆す。余筆実尔不幸にして乗る所の船艦を破壊  
し、乃ち以夜万成逃水漸く、明朝激浪の間を凌ぎ、乃ち  
島と達及後、人煙絶く、余等亦飲水以然る者あり  
改島に、浦中々二十三日、遂に小艇二艘、別れ乗る。一千四百里英國の里法  
の海程を経て「ユアム」島緯線二十七度経線  
百四十五度在り趣く、乃ち一舟より八九人を載  
り、乃ち舟遂に余等の同、兵ハ二十二人あり、内ニ婦人小兒共ハ八人あり、  
艱苦実小言ふ、魚々、乃ち幸く「ヤア」島に達す。改島の額臺  
病者及び衣食住に致さる者、以中心より懇情を尽し、遇待  
撫慰、又実尔仁慈深き人なり、故尔余輩彼々為るハ何如方々艱  
困、受件するも心力を尽し、其用亦趣く其江海の恩に謝せん  
と云

支那國

亞医都去歲九月より支那上海へ往きて和英の對訳辞書を編  
成、編寫巴之耽業、上木の成功近き、在り、都支數年間改書、心カ

と尽し、なり且相贊け、編成、日本入岸田吟香傳、詞ハ、  
船俗語、通大、故ハ對訳を必然確實たる、卷一のハ、戸喜三郎、香  
港に在るハ、大島漂流人、乃ち為るカ、以て、周旋、人あり、二月  
中文、那小在る日本諸藩、七十人と共ニ、南京金陵、亦趣たり、支那  
政府より士官に命、名場、跡周く、郷導、より、其中、画  
工者あり、其光景、以て、悉く、撰寫、より、八戸、各と、船、支那、  
求むるもの甚多し、又英語、通大、對話、殆ど、英人の如し

日本國

英國「ニスト」若干の士官を携へ、第四月十五日、明大坂へ向く、出帆、  
蘭、仏、亞、及、南、魯、臣、の「ニスト」要時、後より、続々、出帆、英、  
ニスト、より、横濱、在、浦、の、英、人、左、の、事件、を、報、し、来、り、来、歲、第一  
月、一日、廿、明、江、戸、大、坂、兵、庫、且、別、の、西、岸、船、登、加、マ、一、処、開、港、の、許、容、あり、と  
○日本、政府、より、為、る、和、蘭、の、製造、者、蒸、氣、軍、艦、第一、四月、三十、日、三月、廿、六、日  
横濱、小、着、り、○葡、萄、牙、の、ス、ル、ロ、リ、人、名、「クラム」名、「コンスル」名、「ラント」名、在、浦、ホ、ル、ト、ガ、ル、  
國、の、趣、き、あり、○前、の、プ、ル、シ、ア、コ、ン、ス、ル、ホ、ン、ブ、ラ、ン、ド、再、び、本、國、の、ミ、ス、ト、ル、と、あり、て、来、  
れり、余、輩、甚、喜、ぶ、あり、○近、頃、ガ、シ、タ、ラ、ン、シ、ス、ロ、リ、より、来、り、る、亞、人、「ビー」横濱、の、

市街家々々毛斯燈を照らす事と企たり若是を用ひ時々燈油  
蠟燭の費低省く少くも余輩江戸其他の府城市會も皆化  
く此の毛斯燈を偏く用ひん事必ありと思へり。横濱の近地根岸  
に於て「カリック」土を焼く製する方形を物と適當なる粘土ありを験出た故に  
此製造社中を起さんと企たつ。英人「ガウエル」日本政府を為し日本の  
北地なる石炭嶺及び他嶺山に行き其事を監督せんとして彼地を趣々  
の弟四月十四日三時横濱の英國「コンス」館にて松岡「ニストル」館より近傍  
日本人家に於て「マカガスカ」島人<sup>アフリカ</sup>の死を「事件」と審問を此島  
人始免船を遁逃せし者と疑案に受け監察差役<sup>市街監察の番兵</sup>の追逐せら  
れ此國「ニストル」の庭中に逃れ入らんことを此の「ニストル」衛兵是を遮り  
し因て鐵刀を以て疾に負せ又走り日本人家に入る故に衛兵怒て  
窮追し遂に銃鎗及腰刀を以て刺殺せり殺るべき任ありとせし衛  
兵の不正と決り又番兵の追逐せらるも亦其任あり然且短銃を發し  
し故に大に是を叱呵せり此を以て衆人上り記せし如き事件を番兵  
衛兵の任ありざるを知べし凡そ土地を地主の有るは如此事件ハ  
皆日本政府の關係を所せり余輩日本政府より久くは外國人居

地の監察を就く、正當の法則を主ると希ふ。日本政府の懇情  
して外國人の願を容れし土夫船子工匠の裸体にして横濱市街  
を徘徊せしと禁火在潘外國人此事を喜せりありし  
亞医「ボ」の和英對訳辭彙<sup>ウハクシ</sup>近きに在り是を就く上海より  
得し所の説を支那の部に出す  
横濱中の竊盜甚多し貨物の有無を測らん為し太田屋<sup>外國人の金</sup>と  
遺り奴僕とるり異館に入る故に太田屋より来る者多し云々或  
彼に就て歎訴する事ありと雖も益し縊ひ竊盜不正あるも再び  
彼を賂ふ時々又他を仕ふを得しむ絶く是を罰するを崗を又奴  
僕の他より来る者々事故ありて訴も太田屋より買ふ者ありしハ嘗  
て知らずと對ふ如何なるも余輩實に困難あり太田屋實に江戸に於  
て會盟を以て定規を破れり彼の自己の意に任を不正の行をなす  
を實に審糾せん事を願ふ又彼番頭を僅し英語を解する者ありて  
外國人の逢つて變妄と動り或は西樓を誘ふ以て國を訪ひ来る者ハ  
此の如く侮り辱しむるや云々一毎月飛脚船の出帆毎に新聞  
紙中の數多の困難事件を裁と海外に送るも此等の事皆政府



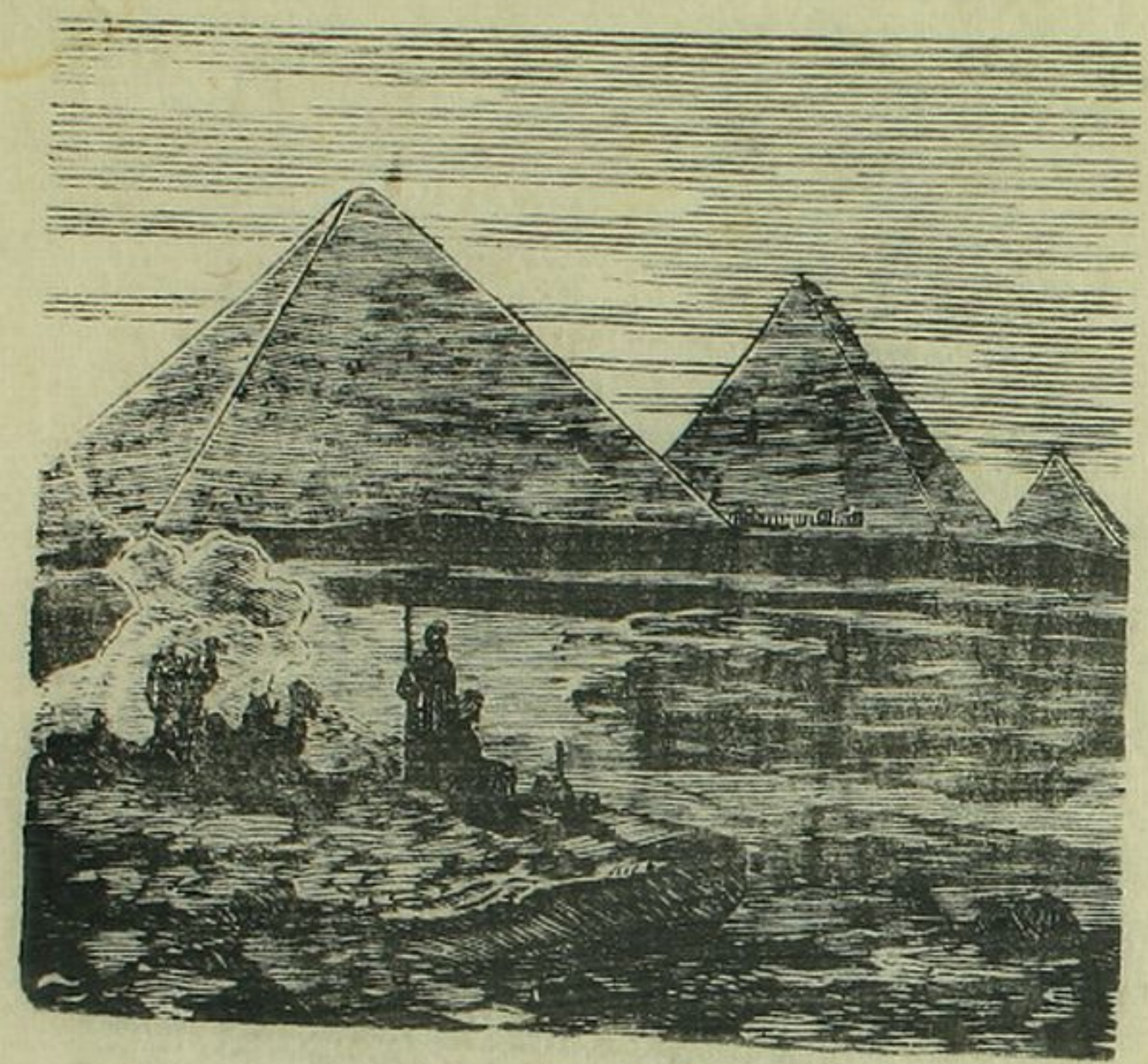
の上官々絶く知らず若く知る時ハ速く制せん又港口に艦船甚少  
く借る事も亦甚難く凡く此等の事件皆一切に除去し自在  
らんらん実し希望する所なり

亞国飛脚船社中の建ちしより許多の利益を興せり一々鯨船横濱に  
来る所の飛脚船月々往来あり因り亞国に在る捕鯨船主の消息を  
るを得れども今より前々船主喪失の消息を得る或は一年の久  
しきに至る事ありと云ふ又鯨油倉を横濱に造り儲へ幸便を待  
本國へ送らんを以て船龍甲或は太平洋中の産物を載せ来り故に  
当港の交易を増え事多しんの事四月廿四日三月各國船艦八隻一  
時船艦と並べし入港を實愉快しして且奇事と云ふ至り當時  
碇泊する各國船艦四十八艘あり内小軍艦六艘あり中不就二艘ハ  
英國一艘を佛國二艘を米利堅一艘を和蘭なり

余輩此新聞紙上木の遅滞せしを歎息し是實不訊者の疾病を患ふと剖削  
師の怠慢詐欺不係し所なり故に余輩支那より剖削不巧者若くは後新  
聞を得るや否速く上木せん若くは江戸より西の巧者剖削師横濱に來りて此鑄  
刻を助けし尚速く出版せしを得ん且又横濱中不於るも多し其業を得べし

「イジプト」の「ピラミッド」

第二集小「イジプト」の「ピラミッド」を載せたり或人の問小因て其説を畧記す  
「ピラミッド」は「イジプト」の「メリス」都の近傍に在り此驚歎を感ずる石塚依然として  
尚存せり實小世界七奇の二あり然れども徒為の巧技と云ふなり大凡四千年  
前小築造せるものなり其の最大りもの名を「ケラプス」の「ピラミッド」



といふ蓋し「ケラプス」ハ築造する王名なり此  
石塚麓趾周圍四百四十間高ハ直径七十七間  
峰平面大磐上小大石最下層の物を以て重疊營  
築を全体方形にして石を以て階級と爲す  
一級高ハ五尺 四面より重ね置て頂小至る小隨て漸  
々狭迫り頂上小僅小方三間許の平面あり此  
石塚の石を切出せ小石工の力を費す十年間  
「アラビア」「エシヨピア」運役夫十万人三  
月小一代二十年にて成功と謂はれ其の石  
塚中小許多の屋室廻廊あり又奇怪なる文  
字として營費と鑄刻を曰く其石塚と營

造せる役夫小共へ一萌蘆葱等の價百萬圓一蓋一「イジラト」人ハ萌蘆葱等  
と嗜好も少くはるる愛ふゆ餘の莫大の費價と推知も一好塚上小登。  
事極めて危一故ハアラビヤ人の浮舟を降く攀躋して往年英國の壬人最る頂より  
誤て失脚一轉輾一落る才骨粉塵一無形物よりりて地不達きり回  
ラミドの孝曲ハ尚未盡其能つぬ其高大なり周觀も危難ありあり「キチ」  
の趾より五十尺許高さ廻廊内ハ今洞穴あり待言内ハ七十三尺の石甚狭く漸く  
低一て身ニの廻廊あり長さ百零九尺又漸く去る一此の徑平濶く古井あり  
り岩石と鑿通を深き百四十五尺又廻廊ありて女王の室に通じ第二の廻廊  
より百三十二尺ありて王の室不達も此内ハ赤色なり花崗石の棺あり「キチ」  
フスの骸と斂り一者ろろ一其他屋室尚敷多あり又月小大石と割切らる  
深サ其幅三尺長サ六尺の空石棺ありる爰より又一の玉の事と發明あり  
此「回ラミド」の四面羅盤針と以て量り一々如く實不能く四方不正當せり  
北ハ出入口あり内漸低一内ハ洞外と顧ねる北極星恰も洞穴の  
正面や出たり是を以て思考をれを天文と経緯一其墓碑の爲り述  
せらる者ろろ

### 「カリフォルニア」の金山

「カリフォルニア」も支那人是を金山と名づく合衆国の太平洋小傍ふ所  
の地ろり「メキシコ」と「カリフォルニア」と戦争後合衆國にて「メキシコ」より買入  
る地ろり二十年前も大抵人民住さず近來金山と見出せり一忽爾合  
衆國諸方の人民此に輻輳す遂小世界萬國よりも皆金と採らんが爲小多く  
來り聚る支那より來る者大凡六万人も居る一即ち次小舉ぐる廻杖此小記セ  
る一りも尚書文委曲ろり「カリフォルニア」も合衆國の日本小第一近き地ろり  
茲小新聞紙と覽る人も萬國の坏説新報を聞くと欲せん故一今亞國の  
醫嗎ガ高温の「サンフランシスコ」と出帆する時彼地在滿の支那人より本國普普告  
知せん事と託き一所の書牘と此新聞紙小加へ出らるる

### 廻杖「サンフランシスコ」在滿の支那人より本國の者小贈る書牘

下鐫科シヤ呢の旧金山道光廿二年始めて埠を開き一り我國の民人陸續と  
して來る金と採る者六萬人あり今見る所の平原曠野一望ろりろり  
此の勝てるるるべり一而して其中に開耕種植する者あり一税ひ教  
萬人の多きも亦身を安んずる一且近時各埠極めて盛一りて鋪戸  
繁多ろり客商雲の如く集り各國の船隻貨物往來絡繹ろりて

絶え山裏の大埠常より火船火車快車ありて貨物を運装  
川の流るが如く——息も休まず小鉄線通信館接濟鉄線信ありて  
千里の遙ろりを往來する瞬息列る——又洋酒洋毡番衣番鞋木の物  
を製造するものあり百工俱小備する土産を則ち金銀銅鉛鉄錫礬砂  
硫磺玉石水礮麥麵煤油烟葉百菓瓜等の物あり別小鉄線信あり通  
て祖家奴約埠小至る日ろろ——亦奴約——通——北京小至るあり  
茲小花旗の江臣官嗎カ高温あり前小曾て中華國小到る二十年并小福  
建省に在り江臣官小歴任して唐山一帶の地方素と熟悉するところ  
縁因任満りて国に回つる今復香港小住き上下鱗科呢の旧金山を徑て  
適く大埠に在り唐番客商と相見ら談及ぶ復唐山に到る專ら北京に  
在りて鉄線信を建造——通——して香港及び各省埠頭小至るんと欲す此鉄線  
及び係放海底小在り以て緊急事務小備ふ時刻通傳——誠小商賈より  
於て大に裨益あり該て埠架等皆宜小合ふと言ふ本國小在りて貿易す  
る者諒小必意よく合ふ故小華と贅——して將來より告知して其事すと  
董成を數百日の程途と雖も而るも音信片刻——して到るなり——

丙寅八月中秋

外国諸物價相場

英吉利飛脚船ロンドン第三月十一日二月迄の報を持來しる。英國に  
て茶と絹の直段下りの茶を別——安——。外国交易品物横濱  
に持來る事少——。生洋布當時横濱より一——に十五大三ドル半又八三  
ドルと六十セントドルより注文少く品物ろ——。吳呂買人少く産物  
と取替り少——。品物稀ろ——。日本商人の求るんと欲  
るる直少——。外国商人賣らるる。子生銀の太ル支那多  
分の求ひる故に追々拂底なる——直段も上らん。飛脚船到着の  
後日本産物を買入る者少——。英國と相場下り——。故なり  
。砂糖米多く蓄る然し——。宜舖品を止る者も大に損る。日  
本商人買ざる。故る。近頃白米欲買ふ者少——。其子細解——。故  
る。玄米白米直段も多分の違ひ——。外国商人大に損——。日本人も  
亦同一余等土人の變約と歎る。故る。白米并に最上砂糖  
多く持來らる。——。以後變約の日本商人或は姦人の賄賂を  
貪る者と此新聞紙中に加へ其不正以衆人に顯はせんと故る。爾  
來る罪を遁る能はる——。

横濱音信

新聞紙の編者に贈る

君の新聞紙を覽る者日本頭髮風の由来と伺ひ其説を聞

得

活計の廣るる国アメリカケンタッキーの地新聞中より得たり

ケンタッキー地に於て物品の高價なる實に驚駭し之を以て衣裳一龍黒羅紗羽織股

引并二ツ絹帽子手袋の價三百二十四此なり乃三千里を経て英吉利のロヴ

足袋十ツ靴合羽雨靴

ルブ此を越え上件の物品を得て伺り且来往六千里の費を省きて

性悪の犬

一畜狗性質頑猾しと動もまじし人々を噛む因て鉄鎖を以て繋束  
とて狗却て褒標ちくと自負し鉄鎖を鳴らしと衆人々視火一狗あり  
来り告ぐ曰汝が繋鎖を褒標ちとて人々に辱因て其へ乃ちなり  
汝靜しとて可うんと世人の非を是とて衆人の誹議を得て其  
恥を知らずか如し

新聞紙の感得

ポノル島新聞紙の四五年前迄は土人多くは文字を通せざりし方今

至てち尽く皆日々の新報と競ひ悉く其新聞紙と戸々分投する  
し奔馬に鞭し馳せ其数大九七千冊且價銀々先と興へ置くといふ日  
本の毎日新報と争ひ求むるに近きと在る

始て牡蛎と食ひたる人

昔一人ありて海濱を逍遙し風光画の如く細波岸をおいて蕭  
々たり此に於て一の古く凹凸る牡蛎を見たり海濱是れ粘着  
し其形状極り醜し乃ち足を擧て蹴たり牡蛎大を口を  
開き其内部を見つた光沢有る黄色を帯ふ其味或も美た  
らんと指を以て其中を探れを舐むと合さず嗔るなり此人傷  
に堪へざり急が指を抜き思ふが己事か口に入る然るに其味は  
実に佳るれり大声おし美なりと叫びたり実小始り此清新  
の味を發明する乃ち蛎房を碎き其全体を取り食ふ形状の醜  
を以て蹴るも其真の味は後至る知られたり牡蛎は  
食ふに塩醬を用ひざり味自ら美なり

# 報告

私店より軍器並衣類高貴仕  
 向の用は仰りて且折込進賣  
 仕當其言を成す

横濱本町通七十番  
 シロウツ

私店より羅紗外國人衣類皆皮類ライズ靴并ヒストル等  
 品々高貴仕向の用は仰りて且折込進賣仕當其言を成す  
 若又其承持合年々其早速本國より取寄つて折込向  
 内注文可なり

横濱本町通 七十五番

シロウツ

口中一切療治仕後

横濱白八番

ウヰン

アメリカの學問修業交易又々見  
 物進歴渡海仕成者七随分  
 世帯可なり

横濱九十三番 ウヰンリード

此度移居して外國に各種器具製練家、染括及び道具寫真術  
醫術、花礦術等、用は各械具外英佛世米支那の書類、商賣仕  
向、八用、四方板、小異求、程偏、身事、之、又、品、持、合、セ、全  
之、國、時、り、取、り、差、上、り、名、所、注、又、可、り、振、寄、上、也

横濱本町通

八十三番

ハルトリー

羅紗類、フランネル、花毛氈、衣類、履、美、佛、銷、花、馬、具、所、入、用、以、方、  
以、來、駕、程、事、取、上、名、又、持、合、セ、之、早、速、取、寄、セ、取、夫、下、立、  
差、上、り、也

横濱八十二番

マケックニー

器械製造一切鐵細工、若、又、生鐵、鉄、鋼、蒸、氣、各、械、鐵、船、軍、艦、商、船  
具、外、大、小、の、船、器、械、も、用、以、り、本、國、も、政、府、の、各、械、上、製、造、致、在、り、  
ヨシ、ペ、ニ、エ、ニ、ド、ソ、ニ、  
又、傳、信、機、械、も、取、寄、組、立、指、上、り、可、り、任、文、を、願、也

横濱六十九番

コウソットフィールド

諸卿大名衆、係、方、其、外、蒸、氣、船、以、買、入、之、取、寄、取、方、之、採、り、私、方、  
所、用、以、以、方、及、之、採、り、又、右、船、係、り、一、切、之、事、一、切、之、事、合  
被、成、方、之、採、り、之、採、り、何、事、以、注、文、之、採、り、之、採、り、  
ペ、ニ、エ、ニ、ド、ソ、ニ、  
横濱海岸十五番

横濱海岸十五番

ダウイソン

私、方、之、七、之、之、及、之、外、國、品、物、迫、賣、は、之、採、り、之、採、り、  
横濱本町通五十七番

横濱本町通五十七番

フリッチェル

私、方、之、英、吉、利、産、の、壯、家、二、疋、以、方、同、若、之、採、り、之、採、り、  
以、方、之、採、り、之、採、り、之、採、り、諸、人、之、採、り、之、採、り、  
横濱海岸通五番

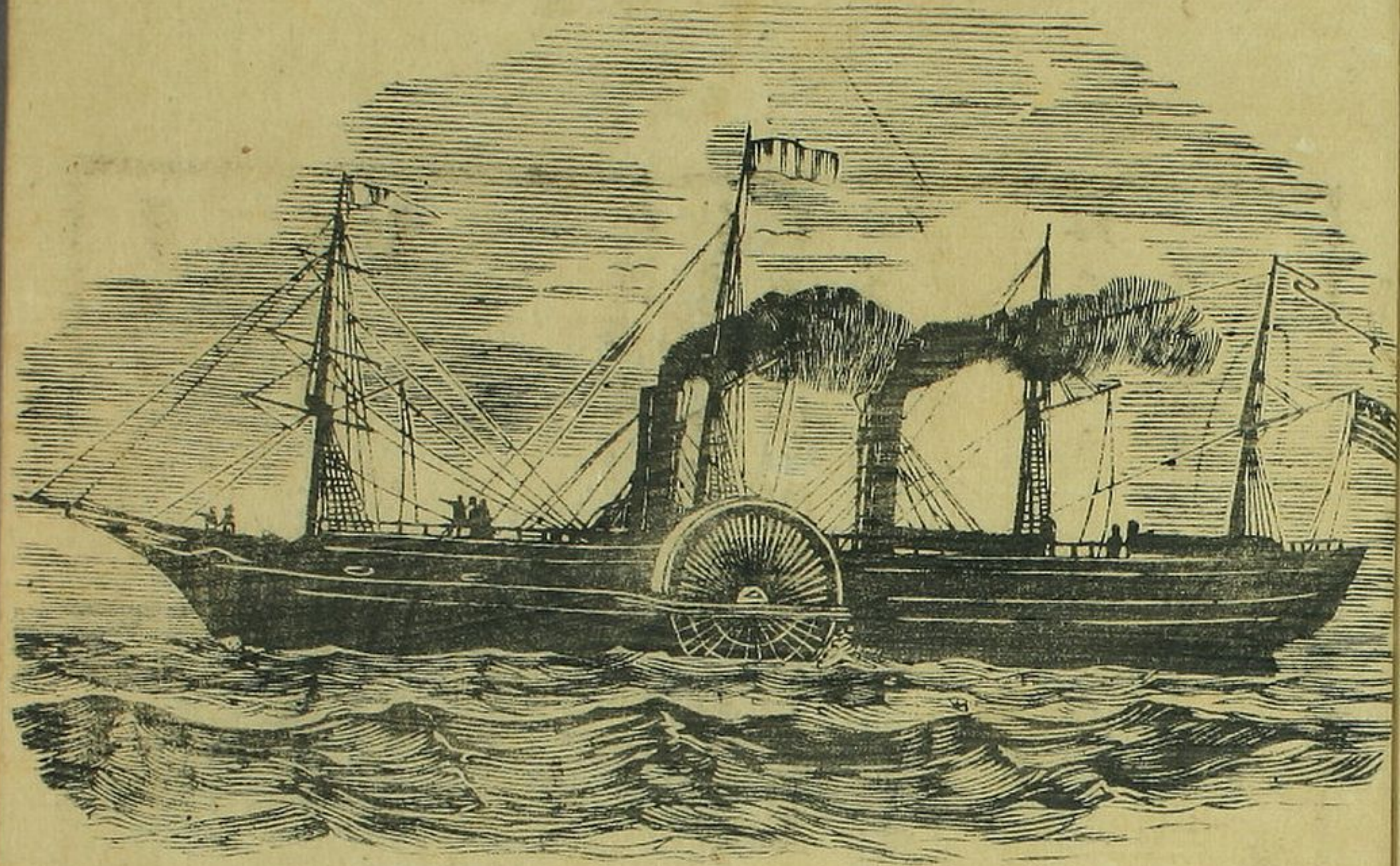
横濱海岸通五番

スミス

英國新航海書、并、農業書、務、之、到、者、は、同、以、買、取、之、程  
奉、願、也

横濱八十三番

ハルトリー



美小華嚴なる三千トシニ我の火輪船ゴロラ  
六百五十ト  
 ド西洋第五月二十五日我四月二十二日サンフ  
 ラシスコ小趣んとして横濱を出帆し且つ  
 メキシコ港南アメリカニウヨルクヨウロツパ等へ  
 旅客を載送らんとす  
 横濱より「サンフランシスコ」港まで上等客二  
 百五十「ドル」中等客百七十「ドル」支那中等  
 客百ドル外国下等客十ドル日本下等客五ドル  
 「ニウヨルク」より上等客四百三十五ドル中等客  
 二百八十五ドル下等客百五十五ドル  
 外附属の荷物上等客ハ重ハ二百五十「ポンド」  
 中等客ハ重ハ百「ポンド」と載る事と許さる船中  
 食料衣被其他入用の諸物料右價の中より但シ  
 酒別料を出して得べし此飛脚船は海外諸国と遊  
 観する時其船大にして且堅固なるが故小風雨の  
 患い甚少なり又毎日船中を掃除すべし決して

夏物又々黒羅紗衣服靴一組お揃へ白襪衣ッラ子リ襪衣  
 下股引襟鼻拭手袋足袋皆長皆雨衣杖鞭馬具と類列  
 着け同以承り種偏に事願を猶又ハ注文成り急船と取  
 寄らるるより及且衣被は之は皆以用を伴付てらん以上

横濱本早通五十二番

ロスモントウイルマン

私儀此度太田町八丁目百七十五番轉宅仕仕

私店より金銀時斗螺旋銃短銃并火薬玉電氣箱度量器械樂  
 器高賣仕の間買求と程奉希上其外種々武器注文はつ本國より  
 取寄差上可申し且亦時計飾玉と直仕の間買求願上

横濱

時計師  
スアーヴルブランド

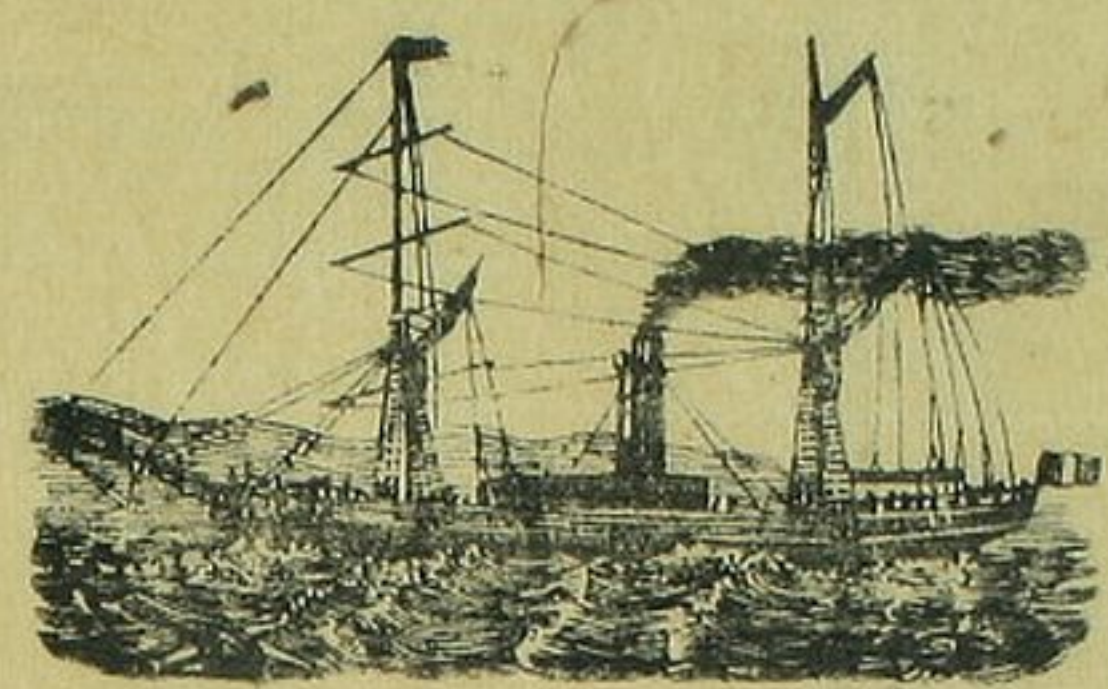
私店、癩病及公瘡毒と妙薬「サルサルラ」根の「エキストライト」并「疥癬  
 と奇薬」由り同買求を願し

横濱本早通八十三番

ハルトリー

不潔うろくろみ「カリフォルニア」ハ世界第一の金と産する地を若し餘分の貨物有りて間暇ある人を往て一覽するも可うらん尚此の飛脚船の委曲と調べんと欲するを亞国八十一番「フィンニ」に訪来るべし

亞国 飛脚船社中



佛蘭西の火輪船毎月六日七日頃本國より「エチプト」印度支那と經て横濱小来着る此船横濱小三日碇泊の後十日十日頃小支那印度歐羅巴へ趣く旅客或は書翰荷物等と載て出帆する若し書状金銀荷物等を送るんと欲し又自ら航海せんことを余が宅より来るべし

メサジエリ エンペリアル社中出張

横濱海岸十番 ワズル

外國へ横濱に住居者此後日増しに多し日本へ「アメリカ」兵「エウロップ」の野菜物を作りて海を多し利するも茲又土地氣候に宜し野菜物不要の内へ移定て出する其委細は多し知るべし且又其種を本國より取寄せて度うて手懸し陸に引出せば

横濱

百一番

ベリリ

パンビスケット ボトル なるや物 移居する者多し其の如く水と氣

横濱

元町二丁目

中川屋嘉兵衛

蒸氣船種々 器械 蒸氣車 道製造 道々 大小砲 銃 條銃 短銃 六發 火藥 彈丸 耕作 道具 書物 衣被 其外 總ての 高賣物 是 外國 産物 何れも 外國 許より 取寄ると 差支り 官 以 買 未 だ 移 居 祈 り 且 又 日本 産物 世界 中 何 國 々 にも 運 送 致し 賣 捌 きの 間 是 又 以 用 せ 仰 祈 候 候 子 願 候 以上

アメリカニューヨーク並サンフランシスコ出店

横濱

八十一番

番頭

ウィリアムホブリン



私受考及海岸通以前三番引移ル

横濱

三番

ウイルキン  
ローベルソン

私店外國商賣品物餘多し受取相賣りは官片先其子新ハ

横濱

三十二番

ポールン

學校書 英文法書 地理書 算術書 點竄書 測量書 詩書 航海書 別本  
日本支那朝鮮亞細亞西亞遠海諸島風候晴礁等并舟行し海筋を記載せし  
書右何し七新刻書物に之を以て用くべきを以て官求仕るる也

横濱

八十三番

ハルトリー

私以前和英海軍外科醫士ニシテ二十年前より横濱ニ在り由外  
科も同業は之に及ぶ各國一般に病院を建てる各國貴賤を問はず別  
療治者病ははは病院地場亦作都合を甚以病人ニ望み及んらん  
若又療治科ニ其科等々中事月番細心守りて其成らん病院  
及び百五十番迄に其考等々らん

横濱

ヨンゲ  
メーブル

英国教師ベリー先生日本貴公子の英学  
小志あり者小教授せん欲す先生子弟此  
教育に熱慣せり先生英国「カレッジ」<sup>地</sup>の  
大学校ありて修業し此の大学校ありて学藝  
上達の為小多し其俸衣賞と得たり故十分  
の教授と与少の支と得たり若し已むこ  
とと得たりて英国小趣くんと欲せば亦  
為し周旋と爲し教授料も多分小受け  
ず又西洋書籍と持せざる者ゆゑ別料  
と受りて借し教りたり

横濱

百一番

發

横濱本町通八十三番

江部之神前

ハルトリ

岡田屋吉郎

司本町三丁目

箱館

大黒屋茂兵衛

テニ一又

行

司本町

伊勢屋勝郎

司本町通三丁目

書

師岡屋伊兵衛

同本町三丁目

外屋常吉

肆

江都和泉橋藤堂辰前

大倉屋喜三郎

此新聞紙は、  
本と翻刻致さるゝに、  
仍と表紙に不許翻刻と記し、  
若前文に、  
一、  
或る者如は

此新聞紙は、  
若前文に、  
一、  
或る者如は  
以上

